

静岡県

土地改良

No.

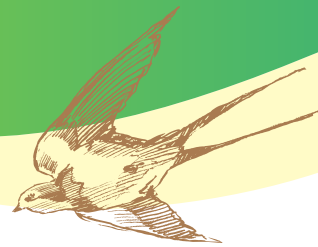
477

2026.5



水土里ネット静岡

| 静岡県土地改良事業団体連合会 |



目次

- 令和7年度第2回理事会 1
- 水土里ネット静岡第69回通常総会 2
- 令和7年度土地改良功労者表彰 4
- 全国水土里ネット表彰式 6
- 令和7年度市町・土地改良区等代表者会議 8
- 特集** ■ つながりが生んだ広報大賞 10
 ～地域に受け継がれる、400年の想いを未来へ～
- 第11回静岡県農村の魅力フォトコンテストー特選・準特選紹介 16
- 未来へつなごう!ふるさとの水土里子ども絵画展 作品募集中!! 18
- 第12回静岡県農村の魅力フォトコンテスト春の部 募集開始
- 行事予定(5月～7月)
- 水田の大区画化を支援!新しい事業の要望調査のお願い 19
- 水土里ネット静岡 各種相談窓口のお知らせ 20
- 令和8年度水土里ネット静岡組織図 22



表紙写真



たの ぎょう どう さ ぎょう 楽しい共同作業

撮影者 @senganmon (千貫門)

撮影場所 松崎町 石部棚田

撮影時期 2023年5月

美しく品格のある邑 石部赤根田村百笑の里

「ふじのくに美しく品格のある邑」
Web サイトへ飛びます



第11回静岡県農村の魅力フォトコンテスト | 春の部「#しずおかむらたび春2025」入選作品

令和7年度 第2回 理事会



令和8年2月24日（火）、静岡市産学交流センター「ペガサート」において、「令和7年度 第2回 理事会」を開催しました。

本会議には、伊東会長をはじめ、副会長2名、理事9名、総括監事1名、監事1名にご出席いただきました。

開会あいさつの中で伊東会長は、「この1か月で大きく政治情勢が変化する中、農業農村整備事業の要となるべき当会の活動や方向性について考える重要な時期である」と述べました。さらに、「食料安全保障の観点も含めた人材確保と、担い手が増える足腰の強い基盤整備について知恵や意見を出し合い、多くの方に理解してもらえるよう努力していく必要がある」と呼びかけました。

その後、伊東会長を議長として議事が行われ、「令和7年度中間監査（令和7年度上半期事業報告及び決算報告）結果について」をはじめとする全11議案が上程され、全て原案通り可決されました。

議 案	
議案第1号	令和7年度中間監査（令和7年度上半期事業報告及び決算報告）結果について
議案第2号	令和7年度収支予算補正について
議案第3号	令和8年度事業計画及び収支予算について
議案第4号	定款の一部改正について
議案第5号	規約の一部改正について
議案第6号	職員給料表の改定について
議案第7号	土地改良施設維持管理適正化資金拠出約款の一部改正について
議案第8号	土地改良施設維持管理適正化事業事務処理細則の一部改正について
議案第9号	令和8年度顧問、参与の委嘱について
議案第10号	第69回通常総会招集について
議案第11号	第69回通常総会提出議案について

水土里ネット静岡 第69回 通常総会



令和8年3月23日（月）、ホテルグランヒルズ静岡において、「水土里ネット静岡 第69回 通常総会」並びに「土地改良功労者表彰式」を開催しました。

開会あいさつの中で、伊東会長は昨今の渇水への懸念や厳しい農業情勢に触れた上で、土地改良事業の予算について「社会の農業に対する投資」であると強調しました。事業効果を適切に評価するため

には行政やJA等との連携が不可欠であると、将来を見据えた計画の見直しや施設の維持管理を行っていく重要性を語りました。さらに、次世代の人材育成が大きな命題であると述べ、参加者に対し、お互いに連携して地域農業と土地改良事業を支えていくよう呼びかけました。

総会前段の「土地改良功労者表彰式」では、本県の農業農村整備に対し円滑な推進に努められ、地域産業の振興、組織発展に多大な貢献をされた個人12名の表彰を行いました。（表彰者は4ページで紹介）

通常総会では、静岡県の平木省副知事（代読：浅井静岡県経済産業部 農林水産統括部長）と、農林水産省関東農政局の菅家秀人局長（代読：北田関東農政局地方参事官）より、頂戴しました。

あわせて、進藤金日子全国水土里ネット会長会議顧問から頂戴したビデオメッセージを披露しました。

その後、議長に任命された浜松市東南部土地改良区の鈴木友治理事長による進行のもと、「令和7年度収支予算補正について」をはじめとする全8議案が上程され、全て原案通り可決されました。

議事審議終了後、太田副会長によって『要望決議文』が読み上げられました。本決議文は、会場に参集した会員全員の賛同をもって受け入れられたため、関係機関へその旨を届け出ることが報告されました。

閉会あいさつには、大石副会長が関係者の尽力による予算確保への感謝を述べるとともに、資材高騰や国の制度見直しといった今後の厳しい見通しについて言及しました。その上で、食料安全保障等を通じた国民の理解促進の重要性を語り、「水土里ビジョン」の策定や団体営事業への積極的な取り組みを呼びかけ、総会は盛会のうちに幕を閉じました。



議 案	
議案第1号	令和7年度収支予算補正について
議案第2号	令和8年度事業計画及び収支予算について
議案第3号	定款の一部改正について
議案第4号	規約の一部改正について
議案第5号	令和8年度賦課金の算出方法及び徴収方法について
議案第6号	役員報酬について
議案第7号	一時借入金について
議案第8号	余裕金の預入先について

令和7年度 土地改良功労者表彰式



代表謝辞（村松滝川土地改良区 井上理事長）

「水土里ネット静岡 第69回 通常総会」に併せ、「土地改良功労者表彰式」を執り行いました。

受賞者を代表し、村松滝川土地改良区の井上剛之理事長より感謝と御礼の言葉が述べられました。

静岡市清水区におけるみかん栽培の歴史と、急傾斜の悪条件や価格暴落などの危機を乗り越え、長年かけて農地の基盤整備を成し遂げた軌跡が語られた後、「先人達から受け継いだかけがえのない農地や農業用施設を、子孫に確実に継承していく重要な責務があります。今後もより一層、活力ある農村地域づくりと施設の維持・保全に力を注いでまいります」と、力強い謝辞をいただきました。



個人の部表彰状授与（代表：小池事務局次長）



役員 の 部 (7名)

(順不同)

井上 剛之	村松滝川土地改良区	理事長
山本 寛	磐田用水東部土地改良区	総括監事
小池 敏夫	中ノ町第3土地改良区	副理事長
氏原 弘志	灰の木原土地改良区	監事
田中 雅之	村櫛土地改良区	監事
竹内 豊	浜北土地改良区	総括監事
中津川 伸	浜松市東南部土地改良区	総括監事

職員 の 部 (5名)

(順不同)

原崎 貴文	牧之原畑地総合整備土地改良区管理課	課長補佐
佃 政憲	大井川右岸土地改良区管理事業課	主幹兼総務係長
小池 哲也	磐田用水東部土地改良区	事務局次長
鈴木 隆史	寺谷用水土地改良区	事業係長
磯部 智紀	静岡県土地改良事業団体連合会会員支援課	課長代理

所属及び役職は、令和7年12月末日時点



全国水土里ネット表彰式



令和8年3月25日（水）、シェンバツハ・サボー（東京都）において、「全国水土里ネット表彰式」が執り行われました。

この表彰式は、全国水土里ネット（全国土地改良事業団体連合会）が主催し、「全国土地改良功労者等表彰」と「農業農村整備優良地区コンクール表彰」を併せて行うものです。本県からは、全国土地改良功労者等表彰に個人3名、農業農村整備優良地区コンクール表彰に1地区が受賞の栄に浴されました。

第67回 全国土地改良功労者等表彰

土地改良事業を通じ地域農業の発展に優秀な成果を収めているなど、長年にわたり運営が良好である土地改良区の表彰。

団体表彰

農林水産大臣表彰	5 地区
農林水産省農村振興局長表彰	2 地区
全土連会長表彰	50 地区

個人表彰

全土連会長表彰 117人

個人表彰 | 全土連会長表彰



高橋 吉人	浮島土地改良区	前理事長
岡本 充	牧之原畑地総合整備土地改良区	参 事
藤原 玲子	磐田用水東部土地改良区 多面的担当係	係 長



農業農村整備優良地区コンクール

農業農村整備事業を契機として生産性の高い農業を実現している地区 及び 個性ある地域づくりを進めている団体に対する表彰。

農業振興部門

農林水産大臣賞 2 地区
 農林水産省農村振興局長賞 4 地区
 全国水土里ネット会長賞 7 地区

中山間地域等振興部門

農林水産大臣賞 2 地区
 農林水産省農村振興局長賞 3 地区
 全国水土里ネット会長賞 3 地区

中山間地域等振興部門 | 農林水産省農村振興局長賞



いいな故里は、守ろう原睦み会
 (静岡県富士宮市原)



令和7年度 市町・土地改良区等代表者会議

これからの農業農村をどのように守り、発展させていくのか。有識者による特別講演や、改正土地改良法に基づく「水土里ビジョン」に関する情報提供など、地域農業の未来を見据えて開催された「市町・土地改良区等代表者会議」の当日の様子をご報告します。



令和 8 年 1 月 30 日（金）、男女共同参画センター「あざれあ」において、「令和 7 年度 市町・土地改良区等代表者会議」を開催しました。

本会議は、農業農村整備事業の施策や農業・農村における様々な取組み、農業情勢などへの理解を深めることを目的に、毎年開催しています。今回は「ユニバーサル農業」と「アグリツーリズム」に造詣が深い有識者をそれぞれお招きし、ご講演いただきました。

また、令和 7 年 4 月に施行された改正土地改良法において位置付けられた「連携管理保全計画（通称：水土里ビジョン）」について、静岡県から情報提供が行われました。

特別講演

新しい農業のかたちについて ユニバーサル農業がつくる新しい地域のかたち

京丸園株式会社 代表取締役 鈴木厚志 氏

13 代続く農園で「ユニバーサル農業」を実践し、障害者雇用を通じて組織を 110 人規模へと成長させた、京丸園株式会社。

障害者が働ける環境整備が、高齢者や若い女性も集まる職場づくりへと繋がり、職場の雰囲気改善や作業効率の向上を実現した事例が紹介されました。

講演では、農業と福祉の融合こそが強い農業の形をつくり、地域の社会問題解決にも貢献できることが、力強く語られました。





農業・農村地域の新しい観光地化 (アグリツーリズム)について

全国通訳案内士 谷佳世子氏

清水港に寄港するクルーズ船の通訳観光ガイド等で活躍されている谷さんからは、客船と陸路による外国人観光客のニーズの違いや受け入れ方法について解説がありました。

静岡の茶畑やわさび田などの里山風景が持つ魅力と、世界農業遺産といった国際ブランドを活用するアグリツーリズムの可能性が提案されました。

丸一農園 望月裕可氏

有東木のわさび生産者である丸一農園の望月さんより、Instagramを活用した外国人受け入れの実践事例が紹介されました。

(同農園は全国品評会で林野庁長官賞を受賞し、高級寿司店との取引実績を持ちます。)

トークセッション



講演後半は、谷さんと望月さんのトークセッション形式でアグリツーリズムの取組みが更に深掘りされました。大人数を受け入れるための道路舗装などのインフラ整備が課題であることや、農業の経営体と旅行会社との連携窓口・決済システムなどのプラットフォーム整備の必要性などが説かれました。



水土里ビジョンについて

静岡県 農地局 農地整備課 課長 渡邊洋介氏

水土里ビジョン(連携管理保全計画)の概要と必要性を説明。基幹施設の6割が耐用年数超過の現状と、組合員減少による管理困難化に対応するため、土地改良区・市町・水利組合が協働で施設管理の役割分担を定める制度が紹介されました。



寺谷用水土地改良区の伊藤理事長と神谷事務長が、磐田市の
草地博昭市長(写真左)を表敬訪問されました。



つながりが生んだ 広報大賞

～ 地域に受け継がれる、400年の想いを未来へ～

令和7年度で35回目を迎えた「農業農村整備事業広報大賞」(主催：
全国農村振興技術連盟)に、磐田市寺谷用水地域活性化協議会の取り
組みが見事「大賞」に選ばれました。

同協議会は、令和4年に寺谷用水が世
界かんがい施設遺産へ登録されたのを機
に、令和5年に設立された組織です。

長年、土地改良区が培ってきた啓発活
動を土台とし、磐田市・静岡県・寺谷用水
土地改良区が連携することで組織の枠を
超えた発信体制を構築。**多角的な視点**
で広報活動を展開している点が評価され
ました。

2026年2月7日(火)には、東京都内で
開催された「農村振興研修会」(主催：

全国農村振興技術連盟)において、表彰
式が行われました。

選考委員長を務めた牧千瑞氏は全体
講評の中で「受賞団体の活動には地域の
未来を共に創る力が感じられた」と述
べ、「皆様の挑戦は、これからの広報の
方向性を示す『海の灯台』のような役
割を果たしていただけたと思う。どうか
本日の成果を励みに、さらに地域の魅
力を発信し続けていただきたい。」と、受
賞者へ賛辞を贈りました。

Q. 農業農村整備事業広報大賞とは？



全国農村振興技術連盟は、農業農村整備事業に係る広報活動の面で特に顕著な功績のあった団体に対して広報大賞等の表彰を行っています。

令和7年度は各地方協議会長から推薦があった40団体について、広報大賞表彰選考委員会による審査の結果、広報大賞2団体、優秀賞8団体、企画賞1団体、奨励賞1団体、特別賞1団体が選ばれました。

Q. 「多角的な視点」とは？



磐田市情報館の展示スペース

「寺谷用水」を身近に感じてもらうための趣向と工夫



効果的な情報発信方法を検討し、多角的な視点で広報活動を実行している点が評価された、磐田市寺谷用水地域活性化協議会。

協議会では、漫画・動画・パンフレット等、寺谷用水をPRするための様々な広報媒体を制作し、情報発信ツールを強化しました。

また、土地改良区が実施している地元の学校への出前講座と施設見学の受け入れに加え、バスツアー企画や、地域の人々と一緒に寺谷用水と磐田市の農業を考える「寺谷用水シンポジウム」の開催など、学びの場を充実させている点も特徴的です。



寺谷コントロールセンター(親子バスツアーの一コマ)

磐田市寺谷用水地域活性化協議会の取り組みはどのように生まれたのでしょうか？

協議会の事務局を務める磐田市農林水産課の大須賀さんと寺谷用水土地改良区の村松さんにお話を伺いました。



■ ワークショップで見えてきた 課題と広報活動の方向性

磐田市寺谷用水地域活性化協議会の構成員は、磐田市・静岡県・寺谷用水土地改良区、そして地元の活動組織です。磐田市からは、協議会事務局を務める農林水産課のほか、教育・観光・広報の担当課が参画しています。

組織と分野の垣根を越えたメンバーが集結したことで、寺谷用水土地改良区がこれまで単独で行ってきた広報活動を、協働で行う体制が構築されました。



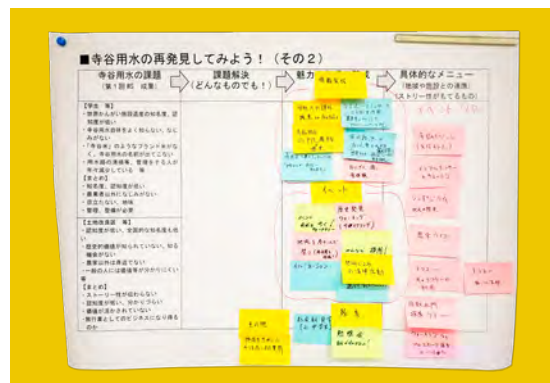
協議会の広報戦略の方向性は、寺谷用水の課題や魅力を洗い出し、協議会メンバーで共有するために開催したワークショップの中で、決定づけられました。

「どうすれば「寺谷用水」をPRできるか？」をテーマに交わされた議論では、寺谷用水の観光資源化を求める声もありましたが、

「農業用水そのものではなく、水が行き着いた先の美しい田園風景こそが、観光資源になりませんか？」

と、提案したのは村松さん。観光資源化により人が押し寄せることで、農業の妨げになる懸念もありました。

そこで協議会では、未来を担う地元の子ども達をメインターゲットに、静かに受け継がれてきた寺谷用水の重要性をPRすることを活動の軸に決めました。



▲ ワークショップは、全2回開催！

県・市・改良区職員のほか、岩田故郷の会・岩田交流センター・磐田市観光協会・農林環境専門職大学・磐田農業高校が参加しました。

■ “魅力発信”のキーワード 「楽しさ」を追求した企画たち

新たに伝える手段の一つとして選ばれたのが「漫画」です。『広報いわた』で連載中の四コマ漫画「きょうも♪たのしっぺい」で作画を担当されている、長門沙織さんに依頼し、小学生が楽しく読める表現にこだわった『まんがでわかる寺谷用水』を発行しました。

「メールのやり取りだけで100件以上」と村松さんが振り返るほどの熱量で制作された漫画は、子ども達がいつでも読め

磐田の米づくりを支える『寺谷用水』を知らう!

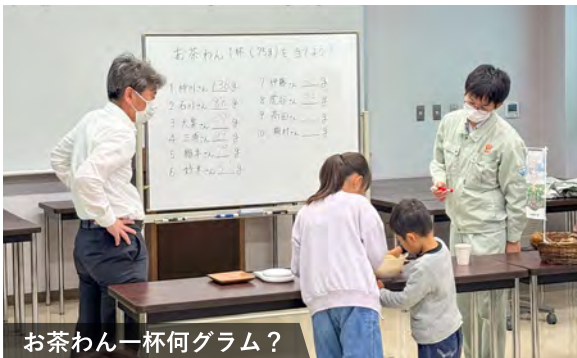
磐田市農林水産課の大須賀さんと出沢さん、静岡県農地計画課の上沼さん、寺谷用水土地改良区の村松さんが中心となって、企画を盛り上げていきました。



寺谷用水の歴史を学ぼう



田んぼと一緒に記念写真



お茶わん一杯何グラム?



とよおか採れたて元気むら



ミニチュア米袋にはお菓子を詰めたよ

寺谷用水の精「てらすう」に導かれ、しっぺい（磐田市公式キャラクター）& びいもが寺谷用水を大冒険!




る地域学習教材として、市内の小学校等のタブレット端末にダウンロードされています。冊子版はイベント等で配布され、歴史が苦手な人からも「面白くて読みやすい」と好評です。

もう一つの目玉企画が、「親子バスツアー」です。プログラムには、農業機械の乗車体験、地場産品が集まる市場「とよおか採れたて元気むら」での買い物、地元食材を使ったお弁当ランチ、お米の

計量クイズなど、五感をフルに使って楽しめる体験が盛り込まれました。

「どうしたら皆に楽しんでもらえるか」を最優先に考えて練られたプログラムは、当日初めて出会った参加者同士が交流を深めるほどの大成功を収めました。

この他にも、「世界かんがい施設遺産カード」の発行や、パネル展示、シンポジウムの開催等、ワークショップから生まれたアイデアを形にしていきました。

■ お米を作ってくれる人が
一番偉い —— 感謝米活動

協議会設立以前からも、寺谷用水土地改良区では、農業用水の水と地域とをつなぐ絆を育む活動を実施しています。

その一つが、天竜川の恵みを受けて稲作が出来ることに感謝し、水源地域へ新米を贈る「感謝米活動」です。磐田用水東部土地改良区と共同で行ってきた、地域をつなぐ温かな交流は、令和7年に14年目を迎えました。

感謝米は届け先の地域の子も達が食べる給食にも使われ、毎回たくさんのお礼の手紙が土地改良区に届いています。

この活動は、地元農家の組合員さんの善意で支えられています。令和6年に起こった「令和の米騒動」で米価が高騰した時にも、給食で感謝米を食べる子ども達の写真を見た農家さん達は「こんなちっちゃい子達が（感謝米を）食べているって聞いたら、出すしかねえか！」と、

協力してくださったそうです。

寺谷用水の紹介パンフレットにも「お米を作ってくれている人が一番偉いよね。」と、組合員さんから感謝米を受け取る写真を大きく掲載しました。



▲ 令和7年度は、合計 56.0 俵を贈呈

- ・ 寺谷用水土地改良区 29.0 俵
- ・ 磐田用水東部土地改良区 27.0 俵

【贈呈先】

- 長野県：駒ヶ根市、喬木村、塩尻市
- 静岡県：天竜森林組合、水窪町森林組合、春野森林組合、龍山森林組合、佐久間森林組合



▲ 左右の和傘は、長野県喬木村の伝統工芸品「阿島傘」。感謝米を通じた長年の友好関係の証として、寺谷用水土地改良区と磐田用水東部土地改良区に贈られました。

■ 成功の鍵は 「仲の良さ」と「熱量の連鎖」

多彩な広報活動の成功の根底にあったのは、何だったのでしょうか？

「市も県も改良区も、本当に仲良く取り組むことができたのが、一番の理由のかなと思います。特に大須賀さんが細かく連絡してくれて、“こうやってできたらいいね。”なんてことを相談しながら進めました。」

と、村松さんは語ります。

勝手に進めることは絶対にせず、担当者間で密に連絡を取り合い、すべて合意形成を図りながら進めていく。磐田市寺谷用水地域活性化協議会の活動は、何度も重ねられたやり取りによって、形作られています。

担当者それぞれが、事業知識だけでなく個人的な興味も強く持って、積極的に参加してくれたといいいます。「一生懸命やってくれたから、こっちも一生懸命返す」という熱量の連鎖が、組織の壁を越えた信頼関係を築き上げていきました。

■ つくり上げた財産を 次のステージへ

「農山漁村発イノベーション対策（現：地域資源活用価値創出対策）」事業の補助金を活用した基盤づくりの期間が一区切りを迎えても、協議会の活動は止まりません。

「これまでに作成した広報媒体（漫画・動画・パンフレットなど）を大切に活用しながら、啓発活動を続けていきます。」と、大須賀さんは話してくださいました。

世界かんがい施設遺産への登録後、視察研修者も増え、「地域の歴史を巡る旅」や「ウォーキングツアー」などで、寺谷用土地改良区の事務所に立寄りたいたいという依頼も、これまで以上に舞い込むようになったそうです。

400年受け継がれてきた「寺谷用水」と、それを支える人々の想い。今回の広報大賞は、まさに「つながり」の結晶でした。一過性ではなく、次世代へのバトンタッチも見据え、多角的な広報媒体を活用しながら、磐田市寺谷用水地域活性化協議会の活動は、これからも続いています。



取材メモ

取材の中で、何度も「熱量」というワードが出てきました。

その熱量たるや、組織づくりから、企画、広報媒体の制作まで、全てのエピソードに詰まっている情熱をお伝えしきれないのが歯痒いほど！

協議会の皆さん一人ひとりの熱量が重なり合った結果が、この広報大賞に繋がったのだと実感しました。

取材 令和8年3月末日



第11回 静岡県

農村の魅力 フォトコンテスト

#しずおかむらたび 2025

「特選・準特選」作品が決定！

11年目を迎えた「静岡県農村の魅力フォトコンテスト」に、今回もたくさんの作品をご応募いただきました。

本コンテストでは、四季（春・夏・秋・冬）ごとに会期とテーマが設定され、各回15点（合計60点）の作品が選出されています。

今回は、入選作品の中から更に厳選された「特選・準特選」作品※をご紹介します。



特
選

種まき列車「小麦号」出発

撮影者 鈴木敬盛さん

撮影場所 裾野市深良

12月の寒い中で一家総出での種まきは、列車でやることによって効率もよく、一番前は車掌さん気分頑張っていることでしょう。

3世代で楽しく作業している様子が伝わってきます。（講評：沼田審査委員長）

※ 今回の特選・準特選の選考対象は、しずおかむらたび冬2024・春2025・夏2025・秋2025の入選作品です。

準特選



静岡県土地改良事業団体連合会長賞

雪積もる棚田の朝

撮影者 @uav.photo

撮影場所 富士宮市 平成棚田

雄大な富士山の麓に整備された新しき現代の棚田。雪化粧の圃場には、春に向けた地力を秘めているように感じさせる作品です。

準特選

ふじのくに美しく品格のある邑づくり
連合会賞

新米

撮影者 @yn____ygw

撮影場所 磐田市

たわわに実った黄金色の稲の中で、おむすびを持った少女が全身で表す嬉しさや喜びが感じられます。



未来へつなごう！
ふるさとの水土里
子ども絵画展

2026年度 作品募集中

農業・農村の豊かな自然や風景と
大切な水路を守る人たちの姿を
今あらためて見つめてみませんか？

応募資格 小学生以下

必着！

募集期間 6月1日(月) ▶ 9月4日(金)

応募規定や応募方法等の詳細については本会または
全国水土里ネットのホームページをご覧ください。



子ども絵画展 2025 農林水産大臣賞 『じいじのうれしい時』

水土里ネット静岡



全国水土里ネット



第12回 静岡県
農村の魅力
フォトコンテスト

#しずおかむらたび春2026

未来へつなぐ
農村の風景

春2026
テーマ

応募期間 2026 5.1(金) ▶▶▶ 6.30(火)

ただ今 春の部 開催中！

応募方法とコンテストの詳細は、
「むらサポ」Webサイトを Check ▶



行事予定



日付	行事内容	場所
6月15日(月)	農業農村整備の集い	シェーンバッハ・サポー(東京都)
6月24日(水)	第1回 理事会	静岡市産学交流センター 「ペガサート」
7月29日(水)	令和8年度 臨時総会	静岡県男女共同参画センター 「あざれあ」



水田の大区画化を支援!!

新しい事業の要望調査のお願い

農地の大区画化等を進めるため、令和8年度から、区画の拡大や畦畔の除去などの簡易整備を農業者が自ら行う、**新たな事業（大区画化等加速化支援事業）**が始まります。

「大区画化に取り組みたい」、または、ご興味のある農業者の方は、取組を検討されているご要望内容をお聞かせください。

詳しい調査内容や、要望の提出方法については、水土里ネット静岡のホームページをご覧ください。



※ 調査では、皆さまの要望内容と要望量を把握します。

※ 実際の作業や補助金の助成は、協議会事務局が現地と事業要件を確認した後、皆様からの申請を受付、採択された後に行っていただきます。



■ 設立総会を開催しました



令和8年3月31日(火)、本会会議室において、「静岡県大区画化等推進協議会設立総会」を開催しました。

総会では、議長に選任された静岡県経済産業部の岩崎農地局長の進行のもと、全3議案が上程され、全て原案通り可決されました。



第1号 — 静岡県大区画化等推進協議会（仮称）規約及び各種規定（案）制定について

第2号 — 役員を選任について

第3号 — 令和8年度の事業計画（案）及び収入・支出予算（案）について

お問合せ

静岡県大区画化等推進協議会

事務局 静岡県土地改良事業団体連合会 会員支援課

電話 054-255-5151 FAX 054-221-3581 Eメール kaiin@sizdoren.jp



お困りごとお聞かせください



水土里ネット静岡各種相談窓口

水土里ネット静岡では、会員のみなさんの困りごとを質問・相談できる窓口を設けています。どんな内容でもお気軽にご相談ください。

01 土地改良法律相談窓口

土地所有者の所在不明や、相続人の不明など、土地改良区受益地内やほ場整備事業内における「財産管理」に関する問題や、近年増加傾向にある「賦課金の滞納処分」などに関するご相談を承ります。内容に応じ、本会の顧問弁護士に相談を仲介いたします。



02 会計相談窓口

土地改良法の改正により令和4年度から貸借対照表の作成が義務化されました。専門家である税理士および会計指導員による「会計業務」などに関するご相談を承ります。

03 その他

- 土地改良区の賦課金について
- 定款・規約等について
- 土地改良区運営について
- 新規事業および事業実施について
- 土地改良施設の改修や補修について
- 過去の土地改良事業について

問い合わせ

水土里ネット静岡 会員支援課

TEL : 054-255-5151 FAX : 054-221-3581 E-mail : kaiin@sizdoren.jp

04 静岡県ため池サポートセンター

ため池に関するご相談は、静岡県農地局農地保全課へお問い合わせください。

受付時間

- ① 09:00 から 12:00
- ② 13:00 から 16:00

▶ 月～金（祝日・休日・年末年始除く）

事務局

静岡県農地局農地保全課

TEL : 054-221-2714 FAX : 054-221-2809
E-mail : nouchihozen@pref.shizuoka.lg.jp

受託

水土里ネット静岡 会員支援課

TEL : 054-255-5151 FAX : 054-221-3581
E-mail : kaiin@sizdoren.jp



05 公共工事発注者支援

土木技術者の不足、「公共工物品確法」による発注事務の適切な実施、発注者責務の明確化等にお悩みの皆さまを、技術的側面から支援します。

業務区分	業務内容
設計・積算補助	<ul style="list-style-type: none"> ■ 設計図書（仕様書、図面の軽微な修正等）の作成 ■ 積算書の作成（積算、積算参考資料）
技術審査補助	<ul style="list-style-type: none"> ■ 入札・契約方法の選定に関する助言 ■ 技術資料の審査業務（総合評価方式等）に関する助言等
監督補助	<ul style="list-style-type: none"> ■ 工事の監督 ■ 工事の段階確認、施工体制の点検（発注者のチェックシートによる）
検査補助	<ul style="list-style-type: none"> ■ 中間検査、出来形検査、一部完成検査、完成検査 ■ 工事及び委託業務の成績評定

▲ 農道・用排水路・ため池の整備工事等を想定しています。



水土里ネット静岡は
農業農村整備事業部門 における
県内唯一の 公共工事発注者支援機関※ です。

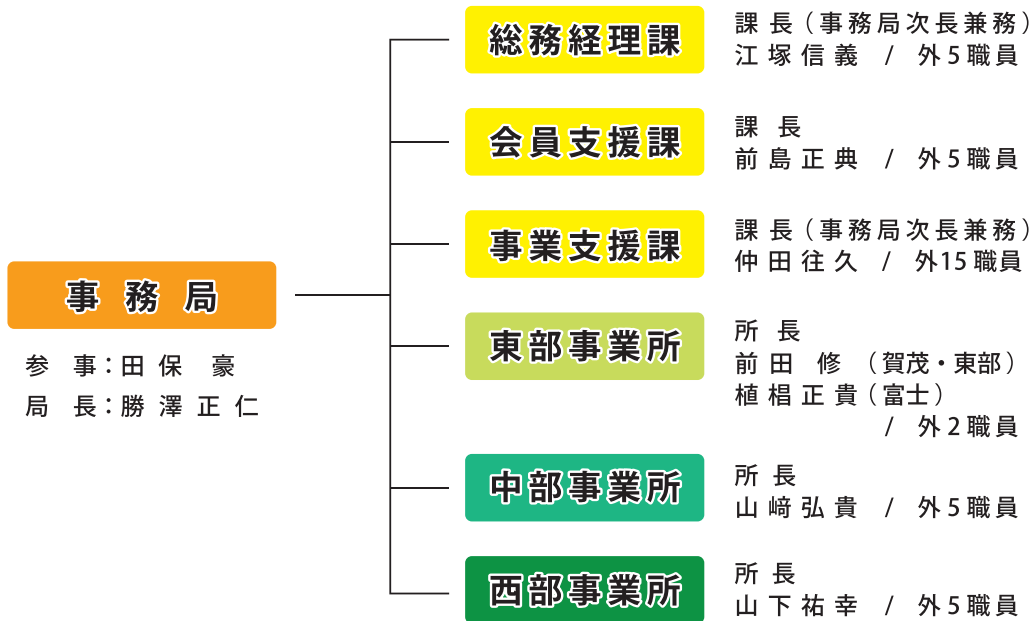
※ 令和8年3月「関東協議会管内農業農村整備事業発注者支援機関」の厳正な評価の下、発注関係事務を適切かつ公正な立場で継続して円滑に行うことができる者として認定されました。

問い合わせ

水土里ネット静岡 | 静岡県土地改良事業団体連合会

- 会員支援課（前島） TEL：054-255-5151 E-mail：kaiin@sizdoren.jp
- 東部事業所（前田、植根） TEL：055-920-2269 E-mail：toubu@sizdoren.jp
- 中部事業所（山崎） TEL：054-286-9273 E-mail：shisetsu@sizdoren.jp
- 西部事業所（山下） TEL：0538-37-2316 E-mail：seibu@sizdoren.jp

令和8年度 水土里ネット静岡 組織図



※ 嘱託職員含む (職員数)



水土里ネット静岡 (静岡県土地改良事業団体連合会)

■ 本 部 (事務局、総務経理課、会員支援課、事業支援課)

〒 420-8601 静岡市葵区追手町 9 番 6 号
TEL : (054) 255-5151 / FAX : (054) 255-3581
E-mail : 総務経理課 soumu@sizdoren.jp
会員支援課 kaiin@sizdoren.jp
事業支援課 (事業・水土里) jigyo@sizdoren.jp
(換地) kanchi@sizdoren.jp

■ 東部事業所

〒 410-0055 沼津市高島本町 1-3
TEL : (055) 920-2269 / FAX : (055) 920-2192
E-mail : toubu@sizdoren.jp

■ 中部事業所

〒 422-8031 静岡市駿河区有明町 2-20
TEL : (054) 286-9273 / FAX : (054) 286-9274
E-mail : shisetsu@sizdoren.jp

■ 西部事業所

〒 438-0086 磐田市見付 3599-4
TEL : (0538) 37-2316 / FAX : (0538) 37-2403
E-mail : seibu@sizdoren.jp